

## 1.はじめに

ITALCOスプレーガンのご購入ありがとうございます。

スプレーガン进行操作する前に、操作説明書に目を通し、適切にご利用ください。

スプレーガンの不適切な使用、いかなる改造または不適切な他の部品との組み合わせは、物質的な損害、使用者や他の人、動物の健康への重大な危険または死亡を引き起こす可能性があります。

**重要:**このスプレーガンは、腐食性の高い材料や研磨材を使用するように設計されていませんので、そのような材料で使用した場合、洗浄や部品交換の必要性が高まります。

特定の材料の適合性についての疑問は、ITALCO販売店にお問い合わせください。

**注意:**このガンは、1,1,1-トリクロロエタンや塩化メチレンなどのハロゲン化炭化水素系溶剤や洗浄剤は使用しないで下さい。

これら溶剤は、このスプレーガンに使用されているアルミニウムと反応し、爆発する危険があります。

## 2.特徴・仕様

モデル	テクノロジー	標準ノズル サイズ (mm)	最適 使用圧力 (bar/psi)	最大 使用圧力 (bar/psi)	パターン幅 (mm)	塗装距離 (mm)	エア消費量 (cfm)	カップ容量 (ml)
SHINE 1	H.V.L.P	1.3/1.4	2.0/29	3.0/43	about 330	170	14-16	600
SHINE 1	L.V.M.P	1.3/1.4	2.5/36	3.5/50	about 280	200	9-11	600
MINI SHINE	H.V.L.P	0.8/1.0	2.0/29	2.5/36	about 170	150	6-8	250



## 7.操作

※初めてご使用の際は、本体に付着している油分を洗浄シンナー等を染みこませた布でふき取ってからご使用ください。

### 7.1 エア供給

安定した空気圧の供給が必要になります。工場側のエアレギュレータで空気圧の調整をしてください。最適な使用圧力については、「技術データフォーム」を参照してください。

### 7.2 エア調整

下部のバルブで圧力調整ができます。

### 7.3 吐出量調整

塗料の種類や粘度に応じて後部のバルブを回して吐出量を調整してください。(矢印1)

標準では、塗料の吐出量は全開となっています。

### 7.4 丸型/平型スプレーパターン調整

上部のバルブでパターンを調整ができます。

(矢印2)

- ・左に回す: 平パターン
- ・右に回す: 丸パターン



### 7.5 ワークとの距離

スプレーガンは、常にワークの塗装面に対して垂直になるように持ってください。

スプレーガンはまっすぐ水平に動かしてください。距離が変わると塗装ムラの原因になります。

## 8.トラブルシューティング

問題点	原因	対処方法
<p>上もしくは下側が濃い</p> <p>左右どちらかにパターンが寄っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーンホールが詰まっている</li> <li>・ノズルの上下に付着物がある</li> <li>・キャップやノズルシートの汚れ</li> <li>・左側または右側のホーンホールが詰まっている</li> <li>・ノズルの詰まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃する</li> </ul>
<p><b>不具合部分の判断方法</b></p> <p>キャップを半回転して、テストピースに塗装します。</p> <p>例1) 上側が濃くなっていたものが、キャップを半回転することで下側が濃くなった。 →キャップ内に塗料詰まり等の可能性があります。キャップを洗浄シンナーに漬置きする等して除去してください。</p> <p>例2) 上側が濃くなっていたものが、キャップを半回転しても上側が濃いままだった。 →ノズル内に問題がある可能性があります。ノズル清掃しても改善しない場合はノズルを交換します。</p>		

## 3.安全に関する警告

<p>3.1 火災と爆発</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 溶剤および塗料は、噴霧すると引火性または可燃性が高くなる可能性があります。機器を使用する前にメーカーの説明書を必ず参照してください。</li> <li>2. 使用者は、作業エリアの換気、防火、操作、設備を管理する地域および国のすべての行動規範および保険会社の要件を遵守する必要があります。</li> <li>3. この装置は、有機ハロゲン化合物の使用には適していません。</li> <li>4. 静電気は、使用中に流体や空気が穴を通過したり非導電性部品を布で掃除することで発生する可能性があります。静電放電による発火を防ぐために、スプレーガンは導電性のホースで常にアースを維持する必要があります。</li> </ol>	
<p>3.2 個人用保護具</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の物質は有毒であり、健康に害を及ぼす可能性があります。使用前に、安全データシートを読み、材料に関する推奨事項に従ってください。不明な点がある場合は、材料の供給元にお問い合わせください。</li> <li>2. 呼吸用保護具の使用を常に推奨します。保護具は、使用する材料に対して防護効果がある必要があります。</li> <li>3. スプレーガンを噴霧または清掃するときは、必ず保護メガネを着用してください。</li> <li>4. 塗装や機器を洗浄するときは、必ず手袋を着用してください。</li> <li>5. 作業者はスプレー装置の安全な使用について十分な教育を受ける必要があります。</li> </ol>	
<p>3.3 誤った使用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スプレーガンは絶対に体や他人に向けてください。</li> <li>2. 機器の推奨安全使用圧力の最大値を絶対に超えないようにしてください。</li> <li>3. 推奨品や純正品以外の部品を装着すると危険です。</li> <li>4. 洗浄やメンテナンスの前に、空気を遮断し、装置から圧力解放する必要があります。</li> <li>5. ガン洗浄機で洗浄後は直ちに取出し乾燥させてください。洗浄液に長時間さらされると、故障の原因となることがあります。</li> </ol>	
<p>3.4 騒音</p> <p>スプレーガンの騒音レベルは、使用環境によっては85dBを超える場合があります。ご使用の際は、耳栓をすることを勧めます。</p>	
<p>3.5 その他の危険</p> <p>高圧を使用するスプレー装置には反動がかかることがあります。特定の状況下ではこのような力は作業者に反復性疲労障害をもたらす可能性があります。</p>	

## 4.機能説明

ペイントスプレーガンは、塗料をスプレーするために設計されています(ノズルサイズは塗料粘度に依存します)。

研磨成分や酸性のもので、またはベンジンを含んでいる溶剤は使用できません。

圧縮空気はスプレーガンのハンドルに接続されているカプラーを通して供給されます。

トリガーを握り空気弁だけを(流動針を押さないで)開けると圧縮空気が噴き出ます。塗装対象の表面のホコリを吹き飛ばせます。

さらに引くと流動針を開放され、エアキャップからの圧縮空気によって塗料が霧状になって噴霧されます。

カップの蓋は塗料が穴から出ること防ぐ漏出防止機能があります。

## 5.洗浄・メンテナンス

a) 塗装終了時は塗料カップ、スプレーガン内部、エアキャップ、ノズル、ニードルを洗浄してください。

b) エアキャップとノズルを洗浄し、外側は硬い毛のブラシで磨きます。キャップの穴の洗浄はブラシや爪楊枝を使用してください。針金等の硬い物を使用する場合は、穴に傷やバリができ、スプレーパターンが乱れることがないよう十分な注意が必要です。

c) 液体通路を清掃し、塗料カップに残った塗料を捨てて洗浄液で洗浄します。その後湿らせた布で外装を拭きます。スプレーガンの潤滑油や寿命に悪影響を及ぼすため、溶剤や洗浄液に完全に浸さないようにしてください。

d) ノズルやニードルを交換する場合は、同時に交換してください。また、ニードルバックキンの交換も同時に行ってください。

e) ノズルやニードルの破損を防ぐため、ノズルを締めたり緩めたりするときは、必ずトリガーを強く引いてください。

ノズル、または液体調整ノブを取り外して、ニードルカラーに対するスプリングの圧力を緩和します。

## 6.注意事項

スプレーガンは溶剤や洗浄剤を使って手洗いしたり、従来のガン洗浄機で洗浄することができます。

次のような行為は、スプレーガンに損傷を与え、いかなる保証請求も無効となります。

- スプレーガンを溶剤や洗浄剤に浸すこと、または洗浄工程に必要な時間よりも長い時間浸すこと。
- ガン洗浄機内に保管すること。
- 超音波洗浄装置でスプレーガンを洗浄すること。
- 暴力的で不適切な扱いをすること。

問題点	原因	対処方法
<p>中央が濃い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレーパターンバルブの設定が低すぎる</li> <li>・噴霧圧力が低すぎる</li> <li>・塗料の粘度が高すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に回してパターンの調整をする</li> <li>・圧力調整バルブで圧力を上げる</li> <li>・適正な粘度になるように希釈する</li> </ul>
<p>両端が濃い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気圧が高すぎる</li> <li>・吐出量調整バルブが回しすぎている</li> <li>・スプレーパターンバルブの設定が高すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力調整バルブや工場側のエアレギュレータで空気圧を下げる。</li> <li>・吐出量調整バルブを左に回して調整をする</li> <li>・右に回してパターンを調整する</li> </ul>
<p>スプレーが安定しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノズルや塗料カップの緩みまたは破損</li> <li>・塗料の粘度が低すぎる</li> <li>・塗料カップが傾きすぎている</li> <li>・流路に異物がある</li> <li>・ニードルバックキンの緩みまたは損傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・締め付けを確認、改善しない場合は交換</li> <li>・粘度を適正にして詰め替える</li> <li>・直立に構える</li> <li>・清掃する</li> <li>・締め付けを確認、改善しない場合は交換</li> </ul>
<p>塗料カップ内が泡立つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノズルの締め付けが不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9~11N・m(6~8ft・lbs)で締め付ける</li> </ul>
<p>塗料カップの蓋から塗料が漏れている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓋の緩みや塗料カップにヒビが入っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓋を取付しなおす、塗料カップにヒビがある場合は交換する</li> </ul>
<p>塗装が薄すぎる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗料の流量が少ない</li> <li>・塗料カップの空気穴がふさがっている</li> <li>・空気圧が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吐出量調整バルブを緩める</li> <li>・蓋を清掃して空気穴のつまりを解消する</li> <li>・空気圧を上げる</li> </ul>
<p>塗装が厚くなりすぎる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装面に対して近すぎる</li> <li>・ニードルが緩んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な距離で塗装する</li> <li>・吐出量調整ネジを締める</li> </ul>
<p>塗料が出ない(塗装されない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気圧が高すぎる</li> <li>・塗装面に対して遠すぎる</li> <li>・塗料の粘度が低すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気圧を下げる</li> <li>・適正な距離で塗装する</li> <li>・吐出量調整バルブを緩める</li> </ul>
<p>ニードルバックキナットから液漏れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニードルガスケットが摩耗している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニードルガスケットを交換する</li> </ul>
<p>ノズルから液漏れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノズルまたはニードルの摩耗、損傷している</li> <li>・ノズルに不純物が付着している</li> <li>・ニードルバックキンに汚れや詰まりがある</li> <li>・ノズルやニードルのサイズが間違っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノズルまたはニードルを交換する</li> <li>・清掃する</li> <li>・清掃する</li> <li>・適正なサイズのものに交換する</li> </ul>
<p>塗料カップの下部から液漏れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗料カップが緩んでいる</li> <li>・塗料カップの接続部分が詰まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗料カップを締めこむ</li> <li>・清掃する</li> </ul>
<p>塗装面が液垂れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗料の吹き出しが多すぎる</li> <li>・塗料の粘度が薄すぎる</li> <li>・スプレーガンが斜めになっている</li> <li>・スプレーガンを動かすのが遅すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吐出量調整バルブを右にまわして調整する</li> <li>・塗料粘度を適正に調整する</li> <li>・スプレーガンは垂直にして使用する</li> <li>・スプレーガンを適正なスピードで使用する</li> </ul>